

令和8年2月末の交通事故の特徴

発生件数	2,960件（-10件）
死者数	16人（±0人）
負傷者数	3,746人（-50人）
飲酒事故	15件（-4件）

【発生件数】

- 発生件数は2,960件（-10件）で横ばい
- 高齢者関連事故は1,016件（-10件）で横ばい
- 1当高齢運転者の交通事故は751件（±0件）で横ばい
- 歩行者関連事故は448件（+59件）で約2割増加
- こども関連事故は88件（+8件）で1割増加

【死者数】

- 死者数は、16人（±0人）で横ばい
- 福岡地区が10人（+1人）で約1割増加
- 高齢者の死者数は7人（-2人）で全死者数の約4割を占め、うち75歳以上（後期高齢者）が5人（-2人）と高齢者の約7割を占める
- 1当高齢運転者による死者数は7人（+3人）で約8割増加
- 歩行中死者数は5人（-4人）で全死者数の約3割を占める

【飲酒運転事故関係】

- 発生件数は15件（-4件）と約2割減少
- 北九州地区が6件（-1件）と約1割減少
- 福岡地区が3件（-7件）と7割減少
- 酒気帯び0.25mg/L以上が7件（-4件）と最多
- 6～8時が5件（+3件）と最多

【自転車関連事故】

- 自転車関連事故は423件（+2件）と横ばい
- 福岡地区が273件（+24件）で約6割を占める
- 交差点が277件（-8件）で約7割を占める
- 10歳代が125件（+11件）で約3割を占める
- 飲酒運転の自転車（第1当事者・第2当事者）の事故は2件（-2件）と減少
- ヘルメット着用率は、小学生以下が47.6%と高く、成人等が8.9%と低い

注1（ ）の数値は、前年同期比

注2 飲酒運転事故は、一般原付以上の運転者（第1当事者）が飲酒していた交通事故